



SDGs未来都市
北九州市

令和3年度当初予算案の主要施策

令和3年2月
北九州市

新型コロナウイルスに対する 支援策と令和3年度予算概要

1. 緊急事態宣言延長に伴う本市の対応（その①）


緊急事態宣言の延長に伴い、不急の外出自粛等により影響を受けている事業者や市民に対し、既決予算や予備費の活用による緊急支援策を実施

・ 時短営業等により売上げが減少した事業者の支援 13億円

売上が減少した中堅・中小事業者のうち、売上が30%以上減少した場合など一定の条件を満たす事業者に対し、法人は最大15万円、個人事業者は最大10万円の支援金を支給

(仮称) 北九州市中小事業者一時支援金

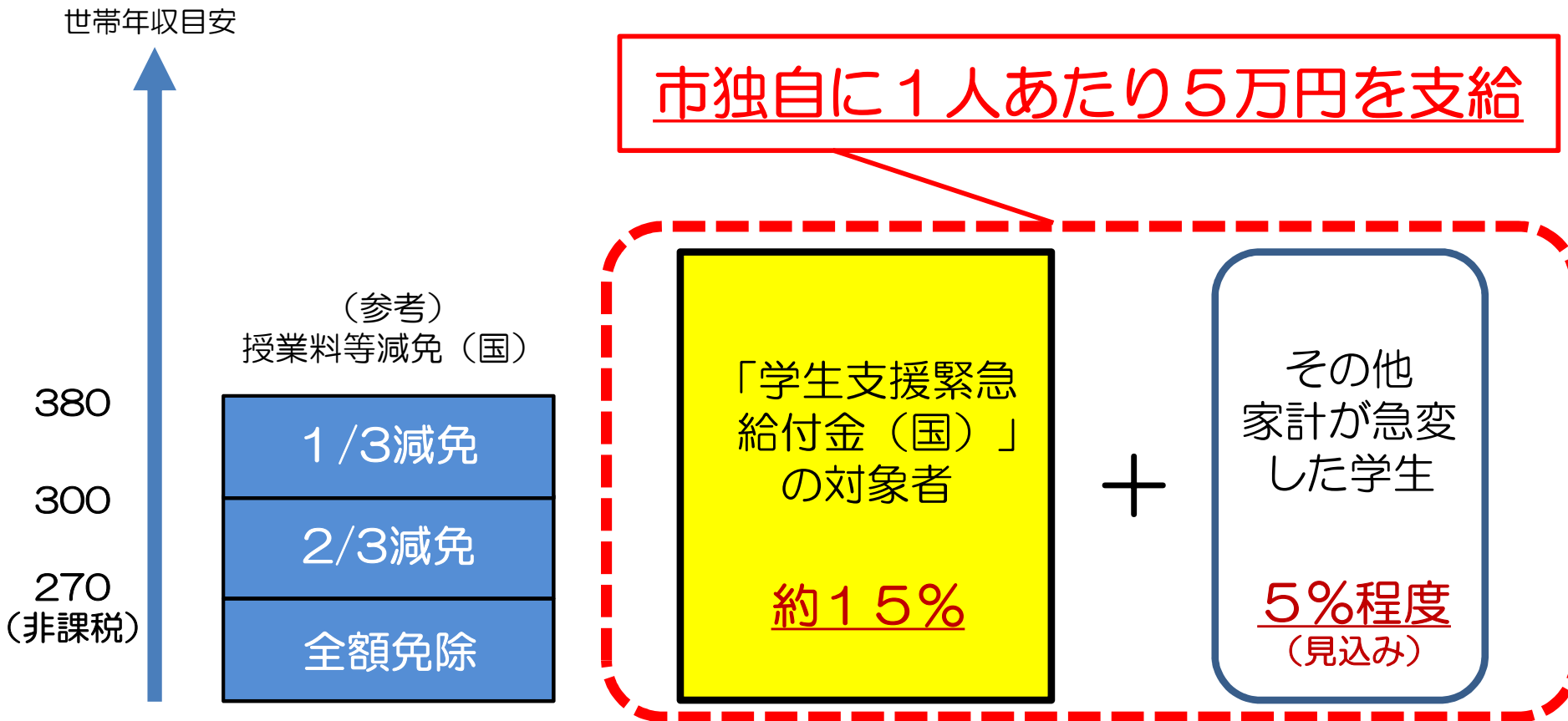
	飲食店取引事業者・ 外出自粛等の直接の 影響あり	その他の事業者	時短要請に 協力した 飲食店
	国	北九州市	国・県
売上 50%以上減	法人 最大 <u>60万円</u> 個人 最大 <u>30万円</u>	売上50%以上減で 法人 最大 <u>15万円</u> 個人 最大 <u>10万円</u>	最大 <u>6万円×</u> <u>時短要請日数</u> ※ <u>売上要件なし</u>
売上 30%以上減	売上30%以上減で 法人 最大 <u>15万円</u> 個人 最大 <u>10万円</u>	売上30%以上減で 法人 最大 <u>10万円</u> 個人 最大 <u>5万円</u>	

 : 北九州市が独自に支援する範囲

大学生等への応援給付金

3.4億円

市内大学等に在籍し、経済的に困窮する大学生等に1人あたり5万円支給



- 対象：市内の大学、短期大学、高専(4年生以上)、専門学校などに在籍する学生(一部のぞく)
 - 要件：新型コロナの影響を受け、アルバイト収入が大幅に減少していること
- ※非課税世帯に限らない

1. 緊急事態宣言延長に伴う本市の対応（その②）

新規 子ども食堂への食材提供による農林水産物の消費拡大支援 **30百万円**
市内直売所などで使用可能なクーポン券を子ども食堂に配布し、子ども食堂の運営と農林水産物の消費拡大を支援

拡充 緊急短期雇用創出事業 **2.1億円**
緊急事態宣言の延長に伴う時短営業等により、アルバイトやパートがなくなった方や学生などの受け皿として雇用を創出

新規 コロナ禍で不安を抱える市内大学生の支援 **30百万円**
市内大学に通う学部生に対するストレスチェックの実施
学生を支援する大学への助成（上限100万円/校）を実施

新規 文化系施設向け動画配信＆感染防止対策ワークショップの開催 **8百万円**
劇場やライブハウスなどを運営する事業者に対し、感染防止対策やライブ動画配信手法などの研修会を実施

新規 自宅及び施設待機者に対する医療支援 **86百万円**
陽性患者のうち自宅療養者等に対し、パルスオキシメーターの配布や陽性者外来の設置、クラスターが発生した施設等への医療支援チームを派遣

2. 新型コロナウイルスに対する本市の支援策

2月補正予算・令和3年度当初予算等 合計 194億円

(1) 緊急事態宣言の延長に伴う対応	20.1億円
(2) 検査・医療提供体制の確保	91.8億円
(3) 地域経済対策・市民等への支援	62.4億円
(4) 新型コロナウイルスに対する更なる備え	20.0億円

1 予算規模 **～過去最大の規模～**

6,421億円（前年度比+718億円、+12.6%）

2 歳入・歳出の状況

【歳入】（主なもの）

市税等の一般財源総額

2,975億円（前年度比▲14億円、▲0.5%）

新型コロナの影響などによる減

●地方交付税等は**930億円**（前年度比+60億円、+6.9%）

公営競技事業会計繰入金**50億円**（前年度比+30億円、+150%）

【歳出】（主なもの）

貸付金は、中小企業融資の増により過去最大の**1,114億円**

新型コロナウイルス感染症への対応 **+54億円**

I 新型コロナウイルスの感染拡大 防止と市民生活への支援

継続

PCR検査・医療提供体制の確保



- 保健環境研究所や民間検査機関におけるPCR検査体制の確保 2. 3億円
- PCR検査センターの運営 1. 3億円
- 身近な診療所等における行政検査（PCR検査・抗原検査）の実施 6. 2億円
- 介護・障害者施設等におけるスクリーニング目的のPCR検査の実施 4. 4億円
- 患者を受け入れた医療機関等や、帰国者・接触者外来を開設した医療機関へ給付金の支給等（陽性患者30万円/人、疑似症患者6万円） 4. 2億円

新規

公立病院における救急医療体制の確保

- 市立病院機構の政策医療（救急医療）継続に必要な運営費負担金 3.9億円

継続

介護サービス事業所・障害福祉施設における事業継続支援

- 専門家による感染防止対策の研修等や、感染症発生時の施設を超えた応援体制を確保するための支援金等の支給（人員提供施設への謝礼15万円/施設） 32百万円

新規

新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保

- 新型コロナウイルスのワクチン接種を迅速・円滑に実施するための体制を構築 62.7億円

継続 交通事業者への事業継続支援

- 市民生活や地域の産業を支える公共交通事業者の事業継続を支援するための補助

2. 4億円



新規 地元航空会社への航空ネットワーク継続支援

- 北九州ー羽田路線を運航するスターフライヤーが航空ネットワークを継続するための機材維持経費等の一部を補助

10億円



拡充 中小企業融資の拡充

- ・市内中小事業者からの融資申し込みに対応するため金融機関への預託金を拡充し、融資規模（3,000億円程度）を確保
1, 100億円

継続 生活困窮者自立支援事業

- ・新型コロナウイルスの影響等に伴う経済的に困窮し、住居を失う恐れがある方等に家賃相当分の「住居確保給付金」を支給
1. 8億円

継続 新型コロナウイルス感染症対策予備費

- ・感染拡大防止や雇用維持・事業継続、市民生活への支援等の緊急対応に必要な経費を引き続き確保
20億円

II まちのにぎわいや未来への飛躍に 向けた成長戦略の実行

拡充 風力発電関連産業の総合拠点形成

- 響灘洋上ウインドファーム着工に向けた地元企業の活用、地域貢献や産業集積の促進 1.5 百万円
- 国直轄事業による洋上風力基地港湾の整備 8.8 億円
- 響灘東地区の埋立地整備 4.1 億円
- SEP船等の基地化に向けた係留施設整備等 1 億円



SEP型多目的起重機船（五洋建設）

- 浮体式洋上風力発電の導入可能性検討 5.5 百万円
- 再生可能エネルギー人材の育成 5 百万円

新規 再エネ100%電力化の促進

- 再生可能エネルギーの導入や省エネ方法の最適化の実現可能性調査、太陽光発電設備・蓄電池の導入支援

48百万円

新規 自律型エネルギー施設の実証補助

- 市有施設に自律型エネルギー設備を設置する際の簡易耐震評価手法の開発に対する補助

2百万円



継続 CO₂フリー水素の社会実装の推進

- 再生可能エネルギーを活用した「CO₂フリー水素」の製造・供給・利用等の可能性調査を実施

6百万円



拡充 北九州市プラスチックスマート推進事業

- 家庭用指定ごみ袋等のバイオマスプラスチック化や大規模な海岸清掃による市民啓発等を実施

78百万円



拡充 北九州空港の航空貨物拠点化

- 北九州空港の第2国際上屋の整備 2. 2億円
- 航空貨物定期便の維持や誘致、集貨促進に向けた着陸料の助成、通関体制の拡充 3. 2億円



継続 ロボット産業の振興

- 国の交付金を活用した産業用ロボットの研究開発等 3. 2億円
- 先進的介護「北九州モデル」を介護現場に普及するための伴走型支援の実施 64百万円



新規

次世代スマートビル建設促進補助金

- 感染症対策やデジタル技術の活用、ゼロカーボンなどの仕様を備えた新規賃貸用オフィス整備に対する補助制度を創設（補助率20%、上限額10億円）



10百万円

拡充

お試しサテライトオフィス誘致の促進

- 首都圏IT企業等を対象に、サテライトオフィス設置に向けた検討費用（旅費・宿泊費等）を助成するほか、進出検討企業と、市内企業や本市の学生とのマッチングを支援するコーディネーターを配置

30百万円

新規

スタートアップSDGs イノベーショントライアル事業

- ベンチャーキャピタルと協調しスタートアップ企業を支援



80百万円

拡充 住むなら北九州 定住・移住推進の取組

- ・市外から移住する世帯等に対し、一定の要件を満たす住宅を取得・賃貸する費用の一部を補助
※テレワーク等で移住する世帯向け補助枠の新設等 85百万円

新規 複業・兼業による関係人口づくり事業

- ・テレワーク等により市内の仕事を複業・兼業する仕組みづくり
- ・本市の暮らしや食等を体験するワークショップ等 15百万円

新規 ポストコロナの新しい暮らしを応援！！ 若い世代の移住促進事業

- ・短期間で手軽に利用できる「お試し居住」やオンライン移住相談など若い世代が利用しやすい受入れ体制を整備 15百万円

継続 定住・移住促進事業

- ・「お試し居住」や移住相談、情報発信などにより移住検討者を本市への移住に結びつける取組を実施 35百万円

継続

「東アジア文化都市北九州2020▶21」の開催

- 日中韓の3か国から選ばれた都市が1年を通じて多彩な文化芸術イベントや交流事業を実施
※国からの補助金（約2.7億円）を活用
5. 1億円



東アジア文化都市
北九州2020▶21
CULTURE CITY OF EAST ASIA in KITAKYUSHU



新規

「2021世界体操・新体操選手権北九州大会」の開催

- 「世界体操」と「世界新体操」を史上初めて同時開催し、スポーツの振興やまちのにぎわいを創出
- 6億円

世界体操

WORLD GYMNASTICS CHAMPIONSHIPS

世界(新)体操

RHYTHMIC GYMNASTICS WORLD CHAMPIONSHIPS

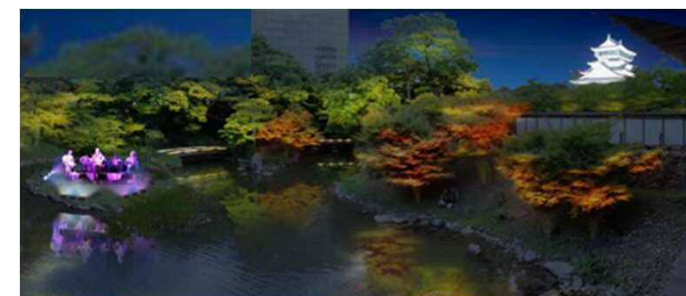
拡充 夜間景観の整備

- 皿倉山山頂において、夜間観光を楽しめる景観を整備 1 8 百万円
- 小倉駅新幹線口駅前広場ライトアップ等 2. 1 億円
- 国際会議場ライトアップ 1 0 百万円
- 小倉城庭園ライトアップ 2 5 百万円



拡充 黒崎地区のにぎわい創出

- ストリートマルシェやシャッターアートの実施 1 1 百万円
- リノベーションによる商業活性化・魅力向上 1 2 百万円



拡充 デジタル市役所の推進

- 行政手続きのオンライン化やデジタルデバイド対策等の推進 43百万円

拡充 自治体DXの推進

- 「（仮称）北九州市DX推進計画」の策定・PR等 7百万円
- AI-OCRやRPAの活用による事務効率化 30百万円
- 「（仮称）デジタル事務集中処理センター」の整備によるRPA等を活用した業務の集中処理 8百万円

継続 市役所のテレワーク推進

- モバイル端末を導入し、市職員のテレワークの本格実施に向けた環境整備を推進 83百万円

Ⅲ 子育て・教育など誰もが安心して 住み続けられるまちづくり

新規 一般不妊治療費、不育症検査・治療費の助成

- 一般不妊治療費について、1年間の治療費を新たに助成 ※上限額5万円 8百万円
- 不育症検査・治療費について、1年間の治療費を新たに助成 ※上限額10万円（検査費5万円、治療費5万円） 4百万円

拡充 子ども医療費助成対象の拡充

- 保険診療による医療費の自己負担額を助成（拡充分） 3. 5億円

【拡充内容】

助成対象：（通院）小6まで → 高3まで

（入院）中3まで → 高3まで

自己負担：（通院）中1～高3は助成対象外 → 1,600円/月

（入院）高1～高3は助成対象外 → 無料

新規 35人以下学級編制の拡充

- 既に小学校1～3年生及び中学校1年生で実施している35人以下学級編制を小学校全学年に拡充 81百万円



拡充 不登校状態の子どもに寄り添った支援

- NPO法人等に委託し、臨床心理士等による定期的な家庭訪問の実施など、一人ひとりに寄り添った伴走型支援を強化 13百万円
- 貧困や虐待、不登校などの問題に対応するスクールソーシャルワーカーを配置(17名→18名に増員) 90百万円

拡充 高齢者等の生活交通の確保

- 公共交通空白地域における「おでかけ交通」の実施 1. 2億円

運行支援地区の拡大 17地区 → 26地区

ユニバーサルデザインタクシー車両導入補助
20万円/台

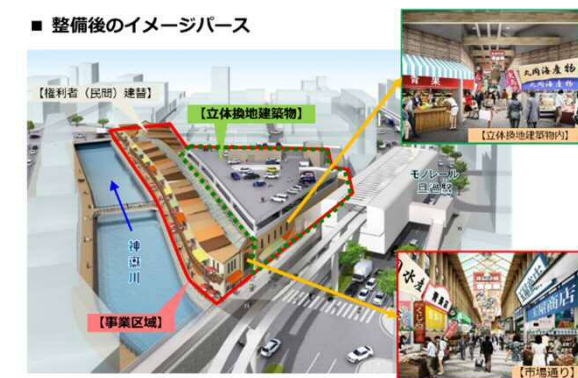


拡充 空き家対策の推進

- 老朽空き家の除却費用の一部補助 90百万円
- 既存住宅を取得した際の改修費用の一部助成 38百万円
- 複数の空き家の面的整備（建替えやリノベーション）を行う民間事業者に対する支援 10百万円

拡充 豪雨・地震災害から市民を守るインフラ整備

- 主に平成30年7月豪雨により被害が発生した河川の改修等 5. 1億円
- 旦過地区まちづくりに伴う河川整備 4. 4億円
※河川整備やまちづくり事業に対し、国・県からの補助金（約2.2億円）を活用



新規 地域と連携した避難所開設 ・ 運営モデル事業

- 予定避難所を開設する際に、避難所の開設と運営を住民と市職員が協力して行うモデル事業を実施 3百万円

新規

北九州市SDGs未来基金の創設

- SDGsの達成に資する事業を推進するための新たな基金を創設 46.4億円

SDGs未来基金の3つのテーマ



基金を活用して実施する事業

- SDGs未来都市計画に掲げたビジョンの推進に資する事業
(令和3年度に基金を活用して実施する事業)
 - ・SDGs推進関連事業
 - ・子ども医療費支給事業(拡充分)
 - ・ゼロカーボン関連事業
 - ・スタートアップSDGsイノベーショントライアル事業
 - ・食品提供マッチングモデル事業
 - ・皿倉山リニューアル事業
 - ・地域福祉活動団体への補助→令和3年度は **3.5億円** を活用
- 市民や企業のSDGs達成を支援する事業
→令和4年度に向け新たに検討

本市のSDGs戦略に掲げる「グリーン成長都市」の実現を強力に後押しする新たなエンジンを創出